

やっ!土小^{バレーボール}チーム 執念の初優勝

5度目のチャレンジでもぎとった

3度目の正直ならぬ、しつこく5度目のチャレンジで栄冠をモノにした「土小チーム」おめでとう。柏市教育委員会主催の柏市家庭婦人バレーボール大会は去る6月17・19日(予選リーグ)、6月25・27日(決勝トーナメント)の各スケジュールで行なわれた。柏市民体育館には、ウーマンリブパワー(?)を誇る市内の49チームが参加。総勢124名。参加チームは、A、B、Cの3ブロックに分かれ予選リーグの熱戦が始まった。



61年度柏市家庭婦人バレーボール大会Bブロックで初優勝を飾った「土小チーム」の面々

●写真後列左から徳橋さん、チームいちの美女、会計の小森さん、谷本さん、前田さん、藤原さん、万年会長の野沢さん、作古さん、前列左からチームの鬼軍曹、佐竹さん、審判で活躍の新妻さん、若きエース谷藤さん、名サーバーの福富さん、ハツラツ新人の福沢さんと熊崎さん。

根気と地力がついてきた「土小チーム」

徐々に地力をつけてきた我等近隣のダークホース「土小チーム」は、Bブロックに出場。

1回戦は、ふたば(Bチーム)、2回戦は、中新宿チームをいずれも、順調に2:0のストレートで勝ちすすむ。3回戦が決勝戦で相手チームは、強力なアタッカー(岡部選手)を要とする五小チームである。第1セットは接戦でモノにしたものの、第2セット逆に接戦の末、13:15で落としてしまった。

土小チームのこれまでのウィークポイントは、1セットでも失ってしまうと、焦りと不安でずるずると後退し崩れてしまう悪い癖があった。

土小チームは、この5月の増尾近隣センターの春季部内大会では、Bブロックで優勝し勢いの波に乗っている。「自信と気分が高揚したうえにゲームに対する冷静沈着さも身につけてきたような気がする」とマネージャー役の福富さん(理事)は語る。

相手チームのエースアタッカーが、バックにさがる

機を得点チャンスにしよう、という作戦にチーム丸ごとの力を集中。一気呵成に攻め切って15:10のスコアで第3セットは、みごと快勝!

この大会5度目のチャレンジで、念願の初優勝を飾った。

欲がでてきたか?「土小チーム」

現在、部員15名の土小チームは週2回、2時間の「コーチ不在」のトレーニングに甘んじている。

ガッツが売りもののチームであるが、雰囲気としては同好会的な色が濃く、のびのびとスポーツを楽しん

でいる、といった気楽で屈託のないチーム。

この度の優勝を契機に、勝負への執念が燃えあがったのかどうかは疑わしいが、若くて美男、しかも腕っこきのコーチを物色中(?)とか。

我こそは近隣に伏して隠れたる逸材と、自負されるコーチを募っている由、手を指しのべてください。繰り返しますが、若さと顔に自信のある方ですよ。まずはともあれ、土小チームおめでとう。

写真(右)「県議会だより」の編集取材班(左)土小チームの練習風景を1時間半にわたっての取材(7/29)

聞いて得する 移動消費者講座

本講座は市民のみなさんに正しい消費生活知識の高揚を図るためのものです。
●豊かな生活への基礎知識●訪問販売などによる悪徳商法●環境汚染●子どもの教育と食生活●健康食品(テーマ別に実施)など……。
現代は、ちょっとした知識の不足から思いがけない落とし穴に出合ったりします。正しい知識を身につけて、豊かで明るい生活を……。

●町会、PTA婦人部●自治会などが対象。皆さまの足元まで専門講師を派遣します。●詳しくは「柏市役所経済部消費生活課」電67-1111(内333)まで。

昭和61年度柏市増尾近隣センター運営協議会及び運営委員会の新役員決まる

役職名	氏名	役職名	氏名
運営協議会 会長	東條 博夫	専門部保健体育部長	高頭 宏信
副会長	友野 忠義	副部長	木村英太郎
会 計	塚田 裕也	文化部長	山本 久
会計監査	山崎喜以子	副部長	工藤 和男
	神宮 初雄		黒田 謙治
	木内 義雄	福祉部長	戸村 英吉
	鈴木 守明	副部長	川田 健介
運営委員会 委員長	吉田 稔		山口 薫
副委員長	高頭 宏信	広報部長	河野健一郎
	有馬 松雄	副部長	宮城 奉文
兼事務局長	山本 久		竹下 弘武
事務局次長	木村 新吉		
事務局委員	山本 雅之	増尾近隣センター長	後藤 栄司
	中村 時夫	主 査	飯沼 好一
	石塚 喜一		
会 計	有馬 松雄		

柏市増尾近隣センター運営協議会 昭和61年度歳入歳出予算

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
市補助金	3,273,000	運 営 費	
1. 事務費	250,000	1. 事務費	250,000
2. 事業費	1,000,000	(1)総会費	30,000
3. 人件費	1,773,000	(2)会議費	100,000
4. 広報活動費	250,000	(3)消耗品費	60,000
		(4)通信費	10,000
町会分担金	52,000	(5)雑費	50,000
		2. 事業費	1,250,000
		(1)広報部	400,000
		(2)保健体育部	410,000
		(3)文化部	300,000
		(4)福祉部	140,000
60年度繰越金	462,687		
		3. 人件費	(12,215)
			1,773,000
		4. 予備費	502,472
合 計	3,787,687	合 計	3,787,687

増尾近隣センター運営協議会 昭和61年度事業計画

事業部	時期	予算額(円)	担当部
広報ふるさと発行	8月、12月	400,000	広報部
6,000部 2回定期的	10月		
6,000部 1回(号外)	各行事時		
各種行事写真代等			
文化祭	11月		
新春囲碁将棋大会	62年1月	300,000	文化部
その他			
春季各部大会	5月~6月		
卓球教室	8月		
球技祭	10月	410,000	保健体育部
新春卓球大会	62年2月		
その他			
ゲートボール大会	9月		
老人クラブ芸能発表大会	未定	140,000	福祉部
合 計		1,250,000	

こんにちは、保健推進員です。

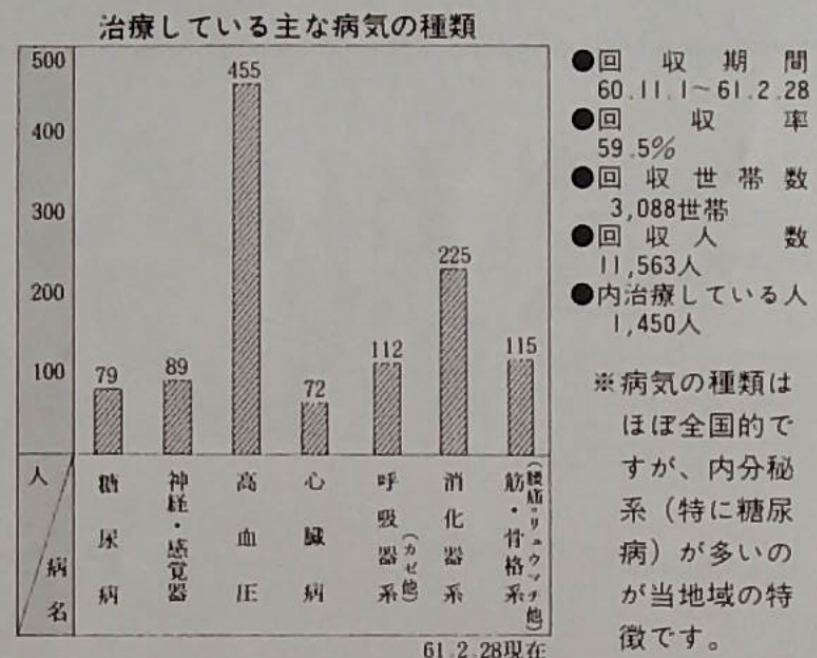
私達は昨年7月増尾地区（18町会）と市のパイプ役として各町会から誕生した保健推進員20人です。

この制度は、地域社会の一員として市の保健事業に参加し、母子保健、成人病予防活動などを展開することで自主的な健康づくりのお手伝いをさせて頂くものです。主な仕事は当地域の健康現況を把握し保健制度や市の事業を皆様にご案内したり、定期的受診の勧誘と手伝い、それに育児上の悩みの相談役などをおこないます。

その活動の一環として皆様方からご協力頂いた「家族健康カード」の集計がこの程出来あがりましてので、その一部をご報告いたします。

体の具合が良い人が77.4%、悪い人が12.3%、その

他9.9%あり、悪い人の内受診している人は85.3%でその主な内容は表の通りです。



健康診断については「健康に自信がある」との自己判断で受診していない人が多くみられますが、このような人こそ受診して、今調子の良い人も「自分の健康は自分で守る」を目標に人生80年の長寿を健康で明るく過ごせる様お互いに頑張りたいと思います。

その為にも正しい知識を身につけて頂けるよう、今年の12月始めに“動く健康教室”を予定しております。

そして活動を通して、この地域の人々が、あたたかく豊かな人間関係あふれる家庭生活を願っています。

まだまだ未熟者ですが、あなたの身近にいる“保健推進員”をどうぞよろしくお願い致します。

増尾地区 保健推進員の担当町会

- ブロック長 山崎喜以子
- 増尾第1～第4
 - 市岡 72-7000
 - 丸山 72-1364
 - 吉見 74-1591
 - 佐野(祐) 72-6401
 - 増尾東映
 - 田中 72-0554
 - 増尾東映第二
 - 後藤 73-5124
 - 第一住宅増尾団地
 - 村井 74-8687
 - 木戸前
 - 飯島 72-8332
 - あざみ、白鷺
 - 小川 72-7739
 - 加賀1丁目・東武中原
 - 山崎 73-2056
 - 加賀2丁目
 - 渡辺 73-6524
 - 加賀3丁目
 - 三輪 72-3311
 - 松野台
 - 佐野(久) 72-3757
 - 樋田 73-0008
 - 増尾南ヶ丘
 - 成島 73-8450
 - 藤心
 - 金子 73-0823
 - 鈴木 74-4866
 - 藤心第2
 - 一見 72-1755
 - 藤心第3
 - 黒澤 73-7429
 - 藤心グリーン団地
 - 佐藤 74-6073

★ 春季部内大会 入賞チーム・入賞者名発表

保体部の三部門…バレーボール・卓球・バドミントンそれぞれがトーナメント方式で行われた。優勝、準優勝、3位までの入賞者は下記のとおりです。

●バレーボール●

Aブロック		Bブロック	
優勝	はくしんチーム	優勝	土小チーム
準優勝	すばる(Aチーム)	準優勝	ときわ台チーム
3位	今谷チーム	3位	酒井根チーム

●バドミントン●

優勝	岡室美智代 森作 紀子 鈴木 季子
Gチーム	長坂 朗子 草野 早苗 浅原美樹子
準優勝	大沢テル子 奥村ふみ子 小島 京子
Dチーム	武藤 恵子 向井三樹子 大友さち子
3位	保田 靖子 片岡百合子 川村 朝子
Aチーム	佐久間美千代 井手口成智子 網野なを子 渡辺 道代

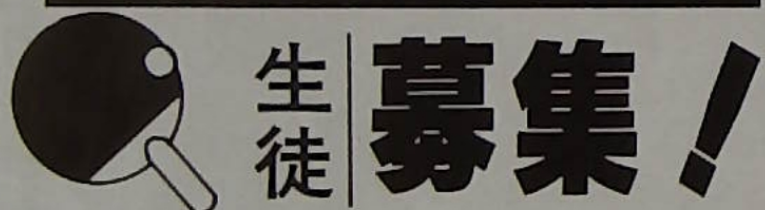
●卓球●

Aブロック		Cブロック	
優勝	花崎恵理子 藤木 律子	優勝	石沢 公世 平野 幸枝
準優勝	丸山由美子 大竹しん子	準優勝	芳口 節子 庄田 肖子
3位	渡辺 裕子 鈴木美也子	3位	東 テル子 本橋 紀子
Bブロック		Dブロック	
優勝	栗原タミ子 鈴木美恵子	優勝	吉田美智子 町田 洋子
準優勝	太田 禮子 坪井 加代	準優勝	早川 富子 永吉 靖子
3位	石井久美子 高野恵美子	3位	世津 仁子 佐藤千代子



バレーボール春季大会二連覇のはくしんチーム

夏休み子ども卓球教室



夏期休暇を利用して下記の要領で増尾近隣センター体育館に於いて「夏休み子供卓球教室」が専門コーチを招き開催されます。

この教室への参加希望者は所定の期日・時間に会費を添えて増尾近隣センター窓口へ直接お申し込み下さい。

★

- 主催——増尾近隣センター運営委員会
- 日時——8月20日・21日・22日
午後1時～3時まで(計3回)
- 対象者——小学4年生以上……………20名
中学生……………20名
- 受付日——8月11日
午前10時～午前11時
- 会費——300円(教材費、保険料を含む)
- 持参するもの——運動し易い服装・室内用運動靴・ラケットを持っている方は持参して下さい。

★お問い合わせ ☎(72) 3600(堀口まで)



イメージをひろげる、これが楽しい 墨彩画愛好会



絵を描くこと——これは実に高尚な趣味である。「自分の世界を誰彼に干渉されない自分だけのもの」これ以上の自由の世界はないはず。だから暮らしがウルオイ、日々がとても楽しい。

この水墨画講座は、59年2月に開講し、同年5月から墨彩画愛好会として再発足。現在男性2名、女性13名、計15名のメンバーで、1ヶ月2回(第1、第3)の金曜日に行なわれている。

このメンバーは開講以来不動の面々で、お互いに気心も通じあった仲だから、気楽さだけは何処のサークルにも負けないと部長の山崎良三さん、自慢の弁。さ

らに山崎さんは「石の上にも3年、といいますが、やっと人様に見せられるものが描けるようになり、完成した墨彩画を額に入れ、しげしげ眺める時は、無上の喜びですな」と目を細めての言葉。実感がこもっている。氏はかつてNHKの絵画通信講座を受講されていたのだが、通信講座の限界をつぶさを感じ止められた。当講座の坂詰可津講師による実習添削指導——筆使いのアヤ、墨の濃淡、画面構成の実習添削は、砂に水がしみ入るように、その醍醐味を、マスターできたような気がして——と

画を描くことは、その場限りで終るのではなく、楽しみが、先へ先へとひろがっていくから後を引いて止められないのだそうだ。実にすばらしい趣味の世界である。毎年正月には同好の士、相集いて新年会、行事後には、楽しい反省会など、楽しいことには貪欲なサークルの面々。今年



会長 山崎良三さん

の文化祭が楽しみだ。 入会ご希望の方はお気軽にどうぞ——。 墨彩画同好会 会長 山崎良三 TEL 74-1818まで